

一 読み	二 画数	三 送り	四 構成	五 部首	六 対義	七 同音	八 誤字	九 四字	十 書取	合計
/12	/4	/5	/6	/6	/6	/7	/7	/6	/12	/71

合格のめやす
50問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① この話し合いには意義がある。

いぎ

② 幼虫がサナギになる。

ようちゅう

③ 休日をのんびり過ごす。

すごす

④ 夕がたいえに帰る。

かえる

⑤ つめたい水で顔をあらう。

かお

⑥ 友だちを先生に紹介する。

しょうかい

⑦ せんたく物を干す。

ほす

⑧ おくれた理ゆうを先生にはなす。

りゆう

⑨ 水道のじゃぐちをしめる。

すいどう

⑩ 畳のへやでねころぶ。

たたみ

⑪ 写真を拡大する。

かくだい

⑫ 海水はしょっぱい。

かいすい

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 胎 9 画

② 黄 11 画

③ 歴 14 画

④ 距 12 画

三 線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい
くるまがとまる。

止まる

① しぜんがゆたかな土地。

豊か

② 町のまつりでたいこを聞いた。

祭り

③ かみがみだれる。

乱れる

④ よわい雨がしとしとふる。

弱い

⑤ このパンはとてもかたい。

硬い

四 次の熟語の組み立ては、「」の「ア」「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「くを」「くに」にあたるもの(れい 読書)

① 帆船
ウ

② 湿润
ア

③ 愚問
ウ

④ 昇降
イ

⑤ 賢明
ア

⑥ 脱獄
エ

七 次の——線のカタカナを、漢字で書きましょう。

① ゲン想的なけしきを見る。

幻

② キツ茶店で友だちと休む。

喫

③ こおった池の氷の上をスべる。

滑

④ それは目のサク覚にすぎなかった。

錯

⑤ コ独な生活をおくる。

孤

⑥ 大きな氷のカイをわる。

塊

⑦ えん筆をナイフでケズる。

削

八 次の文には、同じ読みのまちがった漢字が一字あります。誤字と正しい漢字を、右と左の□に書きましょう。

① 会議でお互いの意見を交観した。

誤

観

正

換

② 茶道の師将に作法を教わった。

誤

将

正

匠

③ 学校の前では車が除行する。

誤

除

正

徐

④ パンの生地が発好してふくらんだ。

誤

好

正

酵

⑤ 作家の髓筆を読んで感動した。

誤

髓

正

隨

⑥ 敵の前進を組止して、味方を守った。

誤

組

正

阻

⑦ 白い定剤をコップの水で飲んだ。

誤

定

正

錠

九

意味を読んで、□に入る漢字を書き、四字熟語を完成させましょう。

① 一 **騎** 当千

一人で千人の敵と戦えるほど、強いこと。

② **滅** 私奉公

自分ですべて、国や人のためにつくすこと。

③ 取 **捨** 選択

よいものを取り、いらないものをすてて、えらぶこと。

④ **免** 許皆伝

師が弟子に、芸のすべてを教えること。

⑤ 複雑 **怪** 奇

こみいっていて、ふしぎでわけがわからないこと。

⑥ **鶏** 口牛後

大きな組織の下より、小さな組織の上に立つほうがよい。

＋ **線のことばを、漢字で書きましよう。**

① パンをスープにひたす。

浸

② 頭がいたい。

痛

③ 新しいぎじゅつをまなぶ。

技 術

④ ねっしんにべんきようする。

熱 心

⑤ だいさんかいのなわとび大会がある。

第 三 回

⑥ 図書かんで虫のことをしらべる。

調

⑦ しぼうをへらす食事をする。

脂 肪

⑧ プレゼントを紙でつつむ。

包

⑨ 兵士は大きなたてをかまえた。

盾

⑩ 人数がふえる。

増

⑪ ことばをえらんでしを書いた。

詩

⑫ とくに大きな声で話した。

特

